

平成 22 年国勢調査 従業地・通学地集計

常住人口（夜間人口）1,431,493 人

調査時に調査の地域の常住している人口

昼間人口 1,433,252 人

常住人口から愛媛県以外で従業・通学する者を除き、他県に常住し愛媛県で従業・通学する者を加えた人口

昼夜間人口比率 100.1

常住人口 100 人に対する昼間人口の割合

1. 常住人口及び昼間人口

(1) 県全体の常住人口及び昼間人口

常住人口は 1,431,493 人、昼間人口は 1,433,252 人

平成 17 年と比べ常住人口は 35,514 人（2.4%）、昼間人口は 35,561 人（2.4%）減少

表3-1-1 常住人口、昼間人口及び昼夜間人口比率－愛媛県（平成17年・22年） 単位（人：％）

	常住(夜間)人口 1)			昼間人口 1)			昼夜間人口比率	
	平成17年 2)	平成22年 3)	増減	平成17年 2)	平成22年 4)	増減	平成17年	平成22年
県全体	1,467,007	1,431,493	△ 35,514	1,468,813	1,433,252	△ 35,561	100.1	100.1

1) 労働力状態不詳を含む。

2) 17年の人口は、「年齢不詳」を除く。

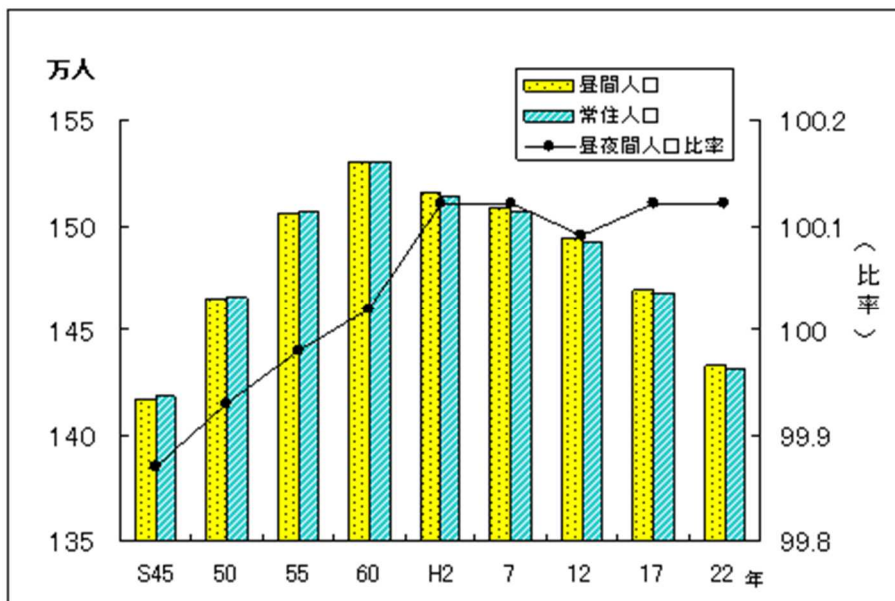
3) 従業地・通学地「不詳」を含む。

4) 従業地・通学地「不詳」で当地に常住している者を含む。

(2) 昼夜間人口比率

昼夜間人口比率は、平成 2 年以降 100.1 が続く

昭和 60 年に 100 を超えて以来、常住人口より昼間人口が多い状態が続く



(3) 市町別

昼間人口が常住人口を上回る（昼夜間人口比率が100を超える）のは8市2町

昼夜間人口比率が最も高いのは、伊方町の106.3

昼間人口が常住人口を下回る（昼夜間人口比率が100未満）のは3市7町

昼夜間人口比率が最も低いのは、松野町の86.9

表3-1-2 常住人口に比べ昼間人口の多い
(少ない)市町 (平成22年) (人)

多 市	い 町	常住人口 との差	少 市	な い 町	常住人口 との差
松山市		6,911	伊予市		△3,722
新居浜市		2,465	西条市		△2,866
今治市		1,963	砥部町		△2,627
東温市		1,410	松前町		△1,540
宇和島市		1,237	西予市		△1,342

表3-1-3 昼夜間人口比率の高い
(低い)市町(平成22年) (人)

高い市町	昼夜間 人口比率	低い市町	昼夜間 人口比率
伊方町	106.3	松野町	86.9
東温市	104.0	砥部町	88.0
久万高原町	102.4	伊予市	90.2
新居浜市	102.0	内子町	93.0
八幡浜市	101.8	松前町	94.9

2. 流入人口及び流出人口

(1) 県外からの流入

他県から愛媛県に通勤・通学している流入人口（15歳以上）は7,254人

四国3県及び広島県からの流入が流入者全体の69.9%を占める

図2 県外からの流入者の常住地別割合
(平成22年)

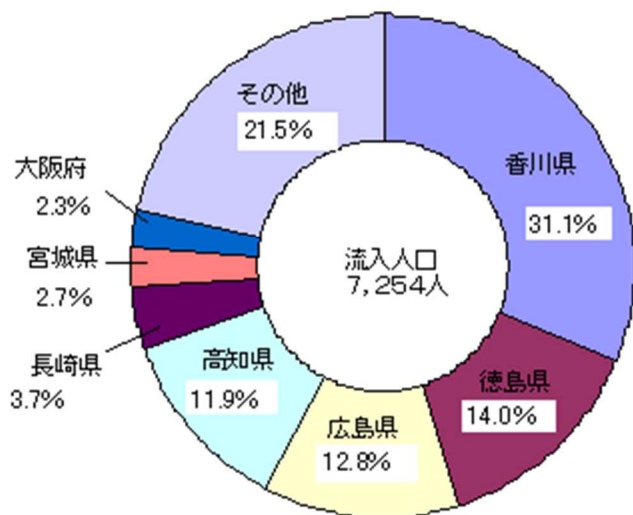


表3-2-1 常住地上位3県の従業・通学市町別割合 (平成22年)

常住地	愛媛県への 流入人口	従業・通学市町名及び割合 (%)							
		四国中央市	今治市	松山市	新居浜市	西条市	上島町	西条市	上島町
総数	7,254人	35.8	17.2	16.8	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2
香川県	2,257人	70.7	9.3	7.1	6.5				
徳島県	1,018人	81.3	7.3	3.6	2.8				
広島県	929人	53.9	22.8	16.4	2.5				

表3-2-2 県外からの流入人口(15歳以上)の多い市町(平成22年)

市町	流入人口	流入元都道府県(上位3都道府県)					
		県名	割合(%)	県名	割合(%)	県名	割合(%)
四国中央市	2,598	香川県	61.4	徳島県	31.9	高知県	2.0
今治市	1,251	広島県	16.9	長崎県	12.9	宮城県	9.0
松山市	1,221	香川県	17.1	広島県	12.4	高知県	10.8
上島町	522	広島県	96.0				
新居浜市	383	香川県	42.0	高知県	12.0	徳島県	7.3

(2) 県外への流出

愛媛県から他県に通勤・通学している流出人口(15歳以上)は5,512人

四国3県及び広島県への流出が流出者全体の79.3%を占める

四国中央市から香川県へ、上島町から広島県へ、愛南町から高知県への流出が目立つ

図3 県外への流出者の従業地・通学地別割合(平成22年)

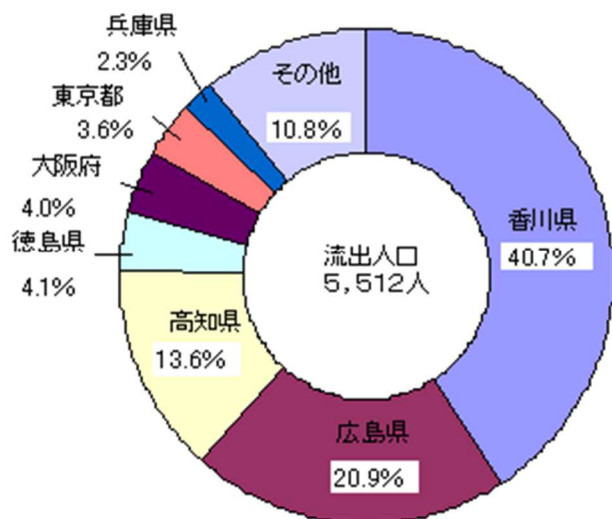


表3-2-3 従業地・通学地上位3県の常住市町別割合(平成22年)

従業地・通学地	愛媛県からの流出人口	常住市町名及び割合(%)										
		香川県	広島県	高知県	四国中央市	松山市	今治市	新居浜市	宇和島市	西条市	愛南町	松野町
香川県	2,242人	68.3	13.4	8.1	3.7							
広島県	1,153人	61.1	18.9	12.0	2.4							
高知県	752人	58.9	14.0	5.9	3.6							

表3-2-4 県外への流出人口(15歳以上)の多い市町(平成22年)

市町	流出人口	流出先都道府県(上位3都道府県)					
		県名	割合(%)	県名	割合(%)	県名	割合(%)
四国中央市	1,694	香川県	90.4	徳島県	5.0	高知県	0.8
松山市	1,057	香川県	28.4	広島県	13.1	大阪府	10.0
上島町	721	広島県	97.6				
愛南町	606	高知県	73.1	広島県	4.6	大阪府	3.1
今治市	395	広島県	55.2	香川県	11.9	岡山県	4.6

(3) 県内市町間の流入・流出

県内の他の市町で従業・通学しているのは 98,583 人
 松山市をはじめ各圏域の中核となる市への流入が多い
 流入超過の市町は 8 市 3 町、流出超過の市町は 3 市 6 町

表3-2-5 県内市町間での流入、流出口
 (15歳以上)の多い市町 (平成22年)

流入人口の多い市町		流出口の多い市町	
市町名	人口	市町名	人口
松山市	29,276	松山市	22,617
新居浜市	9,010	西条市	10,173
東温市	8,948	伊予市	9,081
西条市	7,264	松前町	8,663
松前町	7,208	東温市	7,627

表3-2-6 県内市町間での流入人口と流出口
 (15歳以上)の差が大きい市町 (平成22年)

流入超過の市町		流出超過の市町	
市町名	超過人口	市町名	超過人口
松山市	6,659	伊予市	3,668
新居浜市	2,384	西条市	2,909
東温市	1,321	砥部町	2,609
宇和島市	1,124	松前町	1,455
今治市	1,014	西予市	1,310

(4) 総流入・流出口

県内、県外を合わせた総流入人口は 105,837 人、総流出口は 109,684 人
 (県内市町間については、流入、流出の両方でカウント。流出口については、他市町に従業・通学で
 従業地・通学地「不詳」を含む。)

流入超過の市町は 8 市 2 町、流出超過の市町は 3 市 7 町

表3-2-7 県内外を合わせた流入、流出口
 (15歳以上)の多い市町 (平成22年)

流入人口の多い市町		流出口の多い市町	
市町名	人口	市町名	人口 ¹⁾
松山市	30,497	松山市	26,040
新居浜市	9,393	西条市	10,599
東温市	9,008	伊予市	9,232
西条市	7,592	松前町	8,799
松前町	7,219	東温市	7,879

表3-2-8 県内外を合わせた流入、流出口
 (15歳以上)の差が大きい市町 (平成22年)

流入超過の市町		流出超過の市町	
市町名	超過人口	市町名	超過人口
松山市	4,457	伊予市	3,792
新居浜市	1,802	西条市	3,007
今治市	1,512	砥部町	2,797
東温市	1,129	松前町	1,580
宇和島市	1,015	西予市	1,422

1)他市区町村に従業・通学で従業地・通学地「不詳」を含む。

3. 通勤・通学人口

自市町(常住地である市町)で従業・通学する者は 499,434 人で就業者・通学者の 70.9%を占め、平成
 17 年と比べ 27,270 人(5.2%)減少

他市区町村(常住地ではない市町)で従業・通学する者は 109,684 人で平成 17 年と比べ 5,046 人(4.8%)
 増加

他市区町村への通勤者の割合は、全ての年齢層で女性より男性のほうが高い

表3-3-1 常住地による従業地・通学地別就業者・通学者数(15歳以上)

愛媛県・全国(平成17年・22年) (人、%)

従業地・通学地	平成17年		平成22年		平成17年～22年の増減		全国(平成22年)	
	人口	構成比	人口	構成比	実数	割合	人口(千人)	構成比
就業者・通学者1)	750,379	100.0	717,151	100.0	△ 33,228	△ 4.4	66,156	100.0
自宅で従業	119,037	15.9	95,200	13.5	△ 23,837	△ 20.0	6,224	9.6
通勤・通学者	631,342	84.1	609,118	86.5	△ 22,224	△ 3.5	58,277	90.4
自市町	526,704	70.2	499,434	70.9	△ 27,270	△ 5.2	29,325	45.5
他市区町村2)	104,638	13.9	109,684	15.6	5,046	4.8	28,953	44.9
県内	97,986	13.1	98,583	14.1	597	0.6	21,693	34.6
他県	6,652	0.9	5,512	0.8	△ 1,140	△ 17.1	5,512	8.8
県内・他県不詳	0	—	5,589	—	—	—	1,748	—
従業地・就学地不詳	0	—	12,833	—	—	—	1,655	—
就業者)	679,915	100.0	651,605	100.0	△ 28,310	△ 4.2	59,611	100.0
自宅で従業	119,037	17.5	95,200	14.9	△ 23,837	△ 20.0	6,224	10.7
通勤者	560,878	82.5	544,784	85.1	△ 16,094	△ 2.9	51,879	89.3
自市町	468,591	68.9	447,320	69.9	△ 21,271	△ 4.5	26,404	45.4
他市区町村2)	92,287	13.6	97,464	15.2	5,177	5.6	25,475	43.8
県内	86,464	12.7	87,608	13.8	1,144	1.3	19,200	33.9
他県	5,823	0.9	5,092	0.8	△ 731	△ 12.6	4,832	8.5
県内・他県不詳	0	—	4,764	—	—	—	1,444	—
従業地不詳	0	—	11,621	—	—	—	1,509	—
通学者)	70,464	100.0	65,546	100.0	△ 4,918	△ 7.0	6,545	100.0
自市町	58,113	82.5	52,114	81.0	△ 5,999	△ 10.3	2,921	45.6
他市区町村2)	12,351	17.5	12,220	19.0	△ 131	△ 1.1	3,478	54.4
県内	11,522	16.4	10,975	17.3	△ 547	△ 4.7	2,493	40.9
他県	829	1.2	420	0.7	△ 409	△ 49.3	680	11.2
県内・他県不詳	0	—	825	—	—	—	304	—
通学地不詳	0	—	1,212	—	—	—	146	—

1)従業地・通学地「不詳」を含む。

2)他市区町村に従業・通学で従業地・通学地「不詳」を含む。

3)構成比は、県内、他県については「県内・他県不詳」及び「従業地・通学地不詳」を除いて算出、その他については「従業地・通学地不詳」を除いて算出。

図4 男女、年齢(5歳階級)、従業地(2区分)別
就業者割合—愛媛県(平成22年)